


どんなことをしているの？ 相原小学校ではこんなスタートカリキュラムに取り組んでいました！ ②

授業の様子をのぞいてみると…



国語の学習の前に、大きな画面で絵本の読み聞かせ。先生の問いかけにこたえたり、自分が思ったことを声に出したりと、言葉による伝え合いを楽しみながら、みんな集中して聞いていました。

 学習活動の工夫

こちらは音楽の授業。好きな歌を先生へ次々にリクエストし、歌いながら踊ったり、教室中を動き回ったりと、身体全体を使って、歌を楽しんでいました。



子どもたちは、園で、身の回りの「人・もの・こと」に自ら働きかけて遊ぶ中で、多くのことを学んできました。スタートカリキュラムでも、児童の興味・関心を大切に、小学校の学習へつなぐことが大切です。

このように、歌遊びや絵本の読み聞かせなどといった、園で親しんできた活動を授業の中に取り入れることで、安心して学習に取り組むことができますね。

連携園へ



子どもの育ちや学びをつなげるために

4月の始業式前に、1学年担任が連携園である相原保育園に見学に行っているそうです。幼児期の子どもの様子、保育士の子どもへの関わり方、部屋の環境設定などを見せてもらい、スタートカリキュラムの編成に役立っているとのことでした。

初めて1学年を担当する先生は、見学に行くことで、「たくさんのことを学んだ。」と話していました。

6年生へ

4月最初の6年生の学年集会に、1学年主任から「1年生のお手伝いのときは、何でもやってあげるのではなく、自分でできそうなことは見守り、初めてのことで困っているときは、お手伝いしてあげてほしい。」というお話をしたそうです。3月までは、各園でリーダーとして活躍してきた1年生です。決して0からのスタートではありません。自分でできることもたくさんあることをみんなで理解し、関わることで、1年生は成長していきます。